

2017

JAHFA
JAPAN AUTOMOTIVE HALL OF FAME

論壇

Contribution to
JAHFA



お客様の立場にたった クルマづくりを

スズキ株式会社
四輪技術本部長 専務役員
蓮池 利昭

はじめに

近年は安全・環境技術をはじめ、運転支援や情報化など、高度な技術が融合したクルマづくりが求められています。

その中で、スズキは「小さなクルマ、大きな未来。」をスローガンにお客様の求める小さなクルマづくりを目指し、どのような技術でお客様の生活に貢献できるのかを常に模索しながら商品開発に取り組んでいます。

ここでは今年発売した新型スイフトを例にとり、スズキの取り組みをご紹介します。新型スイフトは、キビキビとしたハンドリングと、爽快な走りを目指しました。軽量、高剛性の新プラットフォーム「HEARTECT(ハーテクト)」の採用、ハイブリッドや新エンジンなどパワートレインを刷新、これらの技術を基にベストなチューニングを行い、走りを進化させました。また、走りだけではなく、時代にあった環境性能、安全性能も備えたお客様の期待を超える、グローバルコンパクトカーとすることを目指しました。

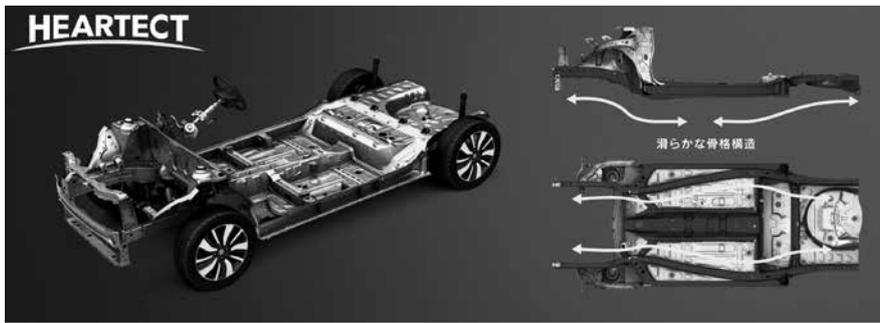
新プラットフォーム「HEARTECT(ハーテクト)」の採用で、走行性能が大幅に向上

新型スイフトの軽快で力強い走りを支える要素の一つが、軽量・高剛性の新プラットフォーム「HEARTECT

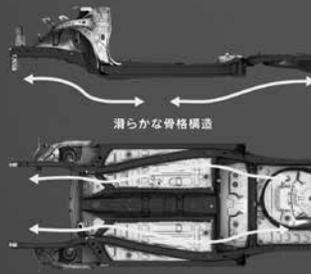
(ハーテクト)」です。2014年に発売した「アルト」のフルモデルチェンジを皮切りに、軽自動車、小型車のプラットフォームを刷新し、新型スイフトではBセグメント用の新プラットフォームを採用することで、従来モデル比で120kg^{*1}の軽量化を実現しています。

「HEARTECT(ハーテクト)」は衝突エネルギー吸収の考え方や車両剛性、NVH性能の考え方を根本から見直し、構造や部品配置を全面刷新することで屈曲した骨格を滑らかにつなぎ、サスペンション部品も骨格部品の一部として利用しています。また、骨格の結合部分を部品の固定に利用し補強部品の削減を行なうなど効率的な骨格構造を実現し、基本性能の向上と軽量化を両立させました。また、運転姿勢を3種類に統合することで、フロントシート、HVAC^{*2}、コックピットをモジュール化し、部品の共通化と軽量化を図っています。足回りも全面的に刷新することで優れたハンドリングとしなやかな乗り心地を実現、車体はハイテン材を効果的に採用し、強度と剛性を確保しました。このように新プラットフォームの採用をはじめ、大幅な軽量化と剛性の向上により、新型スイフトの走行性能を一段と高めることができました。

*1 先代スイフトXG 2WD 5MT車と新型スイフトXG 2WD 5MT車との比較



「HEARTECT(ハーテクト)」イメージ図



1.4L直噴ターボエンジン



マイルドハイブリッドシステム



ハイブリッドシステム



写真は単眼カメラとレーザーレーダーが対象を認識しているイメージです

※2 HVACはHeater, Ventilator and Air Conditionerの略

ハイブリッドと新エンジンで走りと低燃費を両立

新型スイフトには、多彩なエンジンユニットが設定されており、お客様の趣向に合った最適な一台をお選びいただくことが出来ます。駆動用モーター(MGU)とオートギヤシフト(AGS)を組み合わせたスズキ独自の1.2Lハイブリッドでは、スイフトらしいダイレクト感のある走りを楽しめます。ドライバーに操る楽しさと感動を与えるクルマとして開発したスイフトスポーツには、大幅にトルクアップし低回転から力強い加速を発揮する1.4L直噴ターボエンジンを搭載しました。また、爽快な走りや低燃費を実現した1.2Lマイルドハイブリッド、軽快で力強い走りを求めるお客様には1.0Lの直噴ターボエンジンをご用意しました。

数々の先進安全技術

新型スイフトには、万が一の場合の危険回避だけで

なく、日常の運転シーンでより安心してお客様にお使いいただけるよう、スズキ最新の予防安全技術を搭載しました。衝突被害軽減ブレーキシステムには、車両も歩行者も検出する、スズキ初採用の単眼カメラとレーザーレーダーを組み合わせた「デュアルセンサーブレーキサポート^{※3}」を設定しました。また、誤発進抑制機能、ふらつき警報機能、車線逸脱警報機能、先行車発進お知らせ機能、ハイビームアシスト機能などの先進の安全技術を採用。さらに、スイフトスポーツには、思いがけない車線逸脱を抑制するためにドライバーのステアリング操作を支援する車線逸脱抑制機能も搭載しています。

※3 デュアルセンサーブレーキサポートはメーカーオプションです。(HYBRID SLは標準装備)

終わりに

スズキは1920年に鈴木式織機株式会社として設立し、2020年に100周年を迎えます。

我々はこれまで多くのお客様に支えていただいた商品や技術の蓄積に加え、社是に掲げている「消費者(おきゃくさま)の立場になって価値ある製品をつくろう」という考え方を基本に、次の100年に向けてお客様に喜んでいただける新たな価値を創造してまいります。